

第三者評価結果報告書

総括	
対象事業所名	アスクゆめみらい保育園
経営主体(法人等)	株式会社 日本保育サービス
対象サービス	保育所
事業所住所	横浜市港北区綱島東4-1-5
設立年月日	平成21年10月1日
評価実施期間	平成24年7月～平成25年2月
公表年月	平成25年7月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市評価基準
総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）	
<p>【施設の特徴】</p> <p>1. 立地上の特徴</p> <p>開園4年目、定員90名のこの園は、東急東横線綱島駅から歩いて15分、中原街道に面したビルの2、3階を占めている。2階が0～2歳児、3階が3～5歳児の保育室となっている。園庭は屋上で、乳児用の固定遊具のほか、三輪車などの遊具を収納する倉庫があり、子どもたちがたっぴり走り回ることができる。夏には、日除けネットを張り簡易プールを設置して水遊びをしている。近くには、いくつか公園があり、散歩に利用している。</p> <p>2. 多彩なプログラムの提供</p> <p>専任講師による英語教室、リトミック、体操教室があり、言葉・歌・身体を使って表現することで、子どもたちは他の文化に触れ、リズム感や運動能力を養っている。</p> <p>【特に優れていると思われる点】</p> <p>1. 子どもの自主性を重んじた異年齢児保育</p> <p>3～5歳児のテーマ遊び「お店屋さんごっこ」では、子どもたちが何屋さんをやるか話し合い「デザート屋」「おもちゃ屋」「アクセサリー屋」「八百屋」「ハンバーガー屋」と決め、売り物も廃材を利用して自分たちで作るなど、異年齢の子どもたちのそれぞれの発想を大切にしている。</p> <p>散歩や屋上の園庭では、小さい子どもでもできるようにその時々で自分たちでルールを話し合って決め、異年齢の子どもたちが一緒に遊んでいる。</p> <p>【特に改善や工夫などを期待したい点】</p> <p>1. 子ども一人一人が満足する遊び</p> <p>保護者アンケートからは、遊びやおもちゃ・教材、戸外遊び、遊びを通じた健康づくりについて20%以上が「不満、どちらかと言えば不満」と答えています。おもちゃ・教材やコーナーを充実して子ども一人一人がじっくり遊べるよう職員が援助したり、屋上の園庭遊び以外に</p>	

も散歩を増やしたりして、子ども一人一人が満足する遊びの環境を提供することが期待されます。

2. 子どもと保護者が安心できるよう職員の定着を

病気・産前産後・育児休業、異動や退職などやむを得ない事情があるとはいえ、職員が替わる時には子どもや保護者の不安が増します。安定した職員体制が続くような努力を期待するとともに、やむを得ない事情は保護者に知らせて協力を得ることが望まれます。

評価領域ごとの特記事項

1.人権の尊重

- ・保育理念は「安全と安心を第一に」「お子さまにとっていつまでも思い出に残る保育を」「利用者のニーズに合った保育サービスを提供」、基本方針は「子どもの『自ら伸びようとする力』『後伸びする力』を育てる保育を」「子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす『五感で感じる保育』の充実を」、園目標は「元気にあいさつができる子」「まわりの人にやさしくできる子」「未来に向かって夢を持てる子」で、子どもを尊重したものになっている。
- ・業務マニュアルに、子どもとの話し方・接し方の規定があり、全職員が読み込んでいる。子どもの人権侵害に関する新聞記事などは本部から提示され、それをもとに職員会議で話し合っている。
- ・設置法人が作成した個人情報取り扱いガイドラインがあり、全職員は、入職時、個人情報の取り扱いや守秘義務について研修を受けて周知し、非常勤社員も含め全職員が誓約書を提出している。職員会議においても、個人情報の取り扱いについて確認している。今年度は個人情報の持ち出しなどの違反事例について職員会議で再度周知した。
- ・保護者には、個人情報の取り扱いについて、入園時説明している。ホームページへの子どもの写真については、入園時に書面で承諾を取っている。
- ・職員は、遊び、持ち物などに男女の固定観念を持ち込まないように留意し、性別による区別はしていない。遊びや行事では、職員が子どものやりたいものを聞き、自ら選ぶ気持ちを大切にしている。

2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・おもちゃや絵本は子どもが自由に取り出して遊べるように手の届く高さの棚に中身が見えるかごに入れて置かれていて、自由遊びの時間では動きのある遊びと静かに遊ぶスペースを机やマットで分け、子どもが落ち着いて遊び込めるように工夫している。
- ・3～5歳児のテーマ遊び「お店屋さんごっこ」では子どもたちが何屋さんをやるか話し合い「デザート屋」「おもちゃ屋」「アクセサリー屋」「八百屋」「ハンバーガー屋」と決め、売り物も廃材を利用して自分たちで作るなど、子どもたちの発想を大切にしている。
- ・屋上の園庭でピーマンやトマト、ナス、ほうれん草などを栽培し、水やりや成長を観察している。収穫したナスは放射能チェック後クッキング保育で「ナスグラタン」として利用し保育活動にフィードバックしている。
- ・体操・リトミック教室では年齢に合わせたカリキュラムがあり、覚えた歌を自然に口ずさんでいる。5歳児は和太鼓を取り入れている。子どもの作品を展示するときは、台紙を付けてレイアウトしたり、保育室にロープを張ってつり下げるなど作品が引き立つように展示方法を工夫している。
- ・ほとんど毎日、屋上の園庭遊びや散歩など屋外活動を取り入れている。
- ・3歳児から月に一回「クッキング保育」を取り入れ、子ども達は調理に参加して、食への関心を高めている。12月のクッキング保育では5歳児がクッキーを焼き、3、4歳児がデコレーションを行った。3歳児からは、給食

	<p>当番が白衣と三角巾を身につけ配膳の手伝いや挨拶を行い食事やその過程にも関心が持てるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食、幼児食、アレルギー食の献立を作成し、前月末に保護者に配布している。玄関に「今日の献立」の実物サンプルの展示も行っている。給食試食会を実施し、だしや味付け、食材の切り方など園で工夫していることを伝えている。 ・午睡時には、乳幼児突然死症候群（SIDS）を防ぐため、0歳児は5分おきに1歳児は10分おきに呼吸チェックを体に触れて行い、記録している。 ・一人一人の排泄リズムを把握し、個人差を尊重して無理に誘うのではなくできるだけ遊びが中断しないように配慮している。トイレトレーニングは、一人一人に合ったペースで進められるように配慮し、保護者にはその日の状況を連絡ノートに記入するだけでなく必ず口頭でも伝えるようにして、連携を密にしている。 ・日常保育の写真は掲示のほか保育室内にファイルされ保護者はいつでも見ることができる。また、日常保育の写真も委託事業者のホームページから購入することができる。
<p>3.サービスマネジメントシステムの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程は、子どもの発達過程を踏まえて、ねらい、養護、教育、食育、長時間保育、保健計画、異年齢保育についての記載がある。子どもの最善の利益を第一義にし、基本方針や園目標に基づき、保護者の長時間通勤の状況や、地域の実態などを考慮して作成している。 ・保育課程に基づき、年齢毎に年間指導計画、月間指導計画、週案を作成している。指導計画は子どもの意思を尊重して見直すことがあり、とりあえずやってみて子どもの様子を見て見直すこともある。運動会の種目や生活発表会の出し物を、子どもの意見により変更する場合がある。 ・0～2歳児は個別指導計画を作成している。個別指導計画は、月1回だけではなく、クラス担当の職員を中心に話し合っ、状況により柔軟に変更・見直しをしている。歯磨き、トイレトレーニング、箸の使用など重要部分は、送迎時やクラス懇談会の時に保護者に説明し同意を得ている。 ・家庭の状況や生育歴・要望は、「お子さまの状況について」という書式に記録している。入園後は、0、1歳児は毎月、2歳児は2ヵ月毎、3歳児以上は3ヵ月毎に子ども一人ひとりの成長発達を「児童票」に記録している。 ・調理室から代替食・除去食を受け取る時には職員と調理員がサインをし、配膳の時の受け取りも職員2名により間違いのないように気を付けている。アレルギー児のトレイは別の色にし、トレイに除去食品の詳細も明記している。乳児はテーブルも少し離して、他の子どもの食事を間違えて取らないようにしている。また、アレルギー児の名前と除去食品を明記したカードをトレイに置き、緊急時にも避難袋に入れてわかるようにしている。 ・年間避難訓練計画書を作成し、毎月地震・火災を想定しての「119番通報訓練」「広域避難訓練」などを実施している。 ・緊急連絡体制が確立され、保護者への連絡は緊急連絡引渡票で行っている。園携帯電話にメールの登録をした保護者に情報を流すシステムもある。 ・玄関は電子錠になっていて、来園者の顔を確認してから解錠し、不審者の侵入を防止している。警備会社と契約し、防犯カメラ・通報ベルが設置され緊急通報体制が確立し、散歩時も携帯型緊急通報装置を携帯している。
<p>4.地域との交流・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て支援については、園長会議の情報をもとに年度当初に職員会議で話し合い、プールを地域の方に開放したいなどの意見が出ている。 ・散歩の時に近隣の住民や他園の子どもに挨拶をしたり、近くの消防署に見学に行ったりしている。網島公園にあるアスレチックや絵本コーナーで




	<p>遊ぶことがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の畑を借りて芋ほりをしたり、七夕の笹をもらったりしている。またお泊り保育の時に、近隣のスーパーマーケットで買い物をしている。 ・見学者には園の情報を記載したパンフレットに基づいて、園の基本方針、利用条件、サービス内容を説明している。子育て相談を受けることもある。ホームページにも園の情報と園内の写真を提供している。 ・ボランティア・実習生の受け入れのマニュアルがあり、受け入れの際には方針や配慮を説明することになっている。今年度はボランティア・実習生の受け入れはない。
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・基本方針を玄関に掲示し、職員会議やリーダーミーティングを通して職員は周知している。 ・経営、財務状況などの情報が、設置法人のホームページに掲載され、いつでも見られるようになっている。 ・他施設での不適切な事案が設置法人の園長会で報告され、園長はそれを園に持ち帰って、職員会議やリーダー会議で気を付けるよう啓発している。 ・持参したペットボトルは持ち帰ってゴミを出さないようにし、牛乳パックやプラスチックトレイなどは制作の材料として使っている。 ・園長・主任は、保育の様子を観察し、個々の職員の能力や経験に合わせて、立ち位置など必要な助言や指導をしている。また、施設長・主任は全職員のシフトを調整する中で、個々の職員の能力を把握し、就業時間にも気を配るなど肉体的・精神的に健全に業務に就けるよう助言をしている。 ・事業運営に影響のある情報は設置法人で収集・分析し、園では地域の園長会や近隣園との研究会を通して地域の情報を収集している。 ・設置法人の中長期計画と共に、園の課題を踏まえた中期計画を作成している。
<p>6.職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の規定に基づき、子どもの人数に対して十分な有資格者の人数をチェックし、不足した場合は本部と相談の上必要な人材を補充している。 ・常勤職員については年3回の査定シートで自己評価し、研修計画での目標を定め、園長などとの面談により達成度の評価をしている。 ・設置法人の新人研修、階層別研修のほか、横浜市など園外の研修も積極的に知らせて、職員が参加している。 ・園内では、常勤職員は職員会議の場で研修をし、非常勤職員は議事録を見て確認している。今年度は虐待やSIDSについての研修をした。 ・各指導計画、保育日誌には評価・反省欄があり、職員が振り返りをした結果の記入欄が定型化されている。振り返りは、子どもの活動内容に基づき、子どもの育ち、意欲、過程にも言及し、ねらいと関連付けて行われているかを最後に園長がチェックをしている。 ・職員の自己評価の結果、園としての課題を明らかにして取り組んでいる。 ・職員会議やリーダーミーティングなどで職員が提案を出している。例えば掃除の担当者や時間の変更が提案された。

評価機関による評価（アスクゆめみらい保育園）



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念は「安全と安心を第一に」「お子さまにとっていつまでも思い出に残る保育を」「利用者のニーズに合った保育サービスを提供」、基本方針は「子どもの『自ら伸びようとする力』『後伸びする力』を育てる保育を」「子どもの感受性や好奇心を自然な形で伸ばす『五感で感じる保育』の充実を」、園目標は「元気にあいさつができる子」「まわりの人にやさしくできる子」「未来に向かって夢を持てる子」となっていて、子どもを尊重したものになっている。 ・保育課程は、子どもの発達過程を踏まえて、ねらい、養護、教育、食育、長時間保育、保健計画、異年齢保育についての記載がある。子どもの最善の利益を第一義にし、基本方針や園目標に基づき、保護者が都内への通勤が多いという状況や、充実した公園のある地域の実態などを考慮して作成している。 ・保育課程に基づき、年齢毎に年間指導計画、月間指導計画、週案を作成している。 ・指導計画は子どもの意思を尊重して見直すことがあり、とりあえずやってみて子どもの様子を見て見直すこともある。運動会の種目や生活発表会の出し物を、子どもの意見により変更する場合がある。
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前に、園長もしくは主任、保育士と保護者が面接をし、子どもを連れてきてもらって、おもちゃで遊んでいる様子を観察している。 ・生育歴や家庭での状況は、面接の時に把握し面談シートに記入している。 ・入園前説明会で慣れ保育の必要性を説明している。無理のないスケジュールで、保護者一緒の場合もあるなど、保護者の都合を考慮して実施している。その結果ほとんどの新入園児が慣れ保育を経験している。 ・新入園児が入園する時は担任から子どもたちに話し、誕生会で他のクラスの子どもにも紹介している。 ・年間指導計画は、子どもの発達や状況に応じて4期に分けて作成し、期ごとに評価・反省をしている。月間指導計画・週案も、評価・反省を踏まえて作成している。 ・歯磨きなど保護者の意向も反映して、評価、改訂している。
<p>I-3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃は毎日職員が行い、保育室や共用部分は子どもがいない時に、おもちゃは午睡の時にしている。クラス毎にチェック表で確認している。 ・夏には陽光が入り過ぎるので、カーテンを閉めたり窓を開けたりして調節している。冬も床暖房だけで十分なくらい、陽光が入り暖かい。 ・0歳児の保育室は背の低い棚で、1歳児の保育室はゲートで二つに分けており、成長に合わせてパーテーションを変えている。 ・朝と夕方の合同保育では、3、4歳児の保育室のパーテーションをはずして3～5歳児が異年齢で過ごしている。3～5歳児は、お店屋さんごっこなど異年齢で活動することもある。フリースペースもあり、状況に応じて異年齢児と一緒に過ごすこともある。

I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- ・0～2歳児は個別指導計画を作成している。個別指導計画は、月1回だけではなく、クラス担当の職員を中心に話し合っ、状況により柔軟に変更・見直しをしている。
- ・歯磨き、トイレトレーニング、箸の使用など重要部分は、送迎時やクラス懇談会の時に保護者に説明し同意を得ている。
- ・保育所児童保育要録を作成し、小学校に送付している。
- ・家庭の状況や生育歴・要望は、「お子さまの状況について」という書式に記録している。
- ・入園後は、0、1歳児は毎月、2歳児は2ヵ月毎、3歳児以上は3ヵ月毎に子ども一人ひとりの成長発達を「児童票」に記録している。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・玄関を始めバリアフリーになっており、エレベーターや階段には手すりを設置している。
- ・虐待防止マニュアルを基に職員会議で取り上げて、虐待の定義が全職員に周知され、子どもとのかかわり合いや声掛けについて注意を促している。
- ・家庭支援の必要な保護者とは送迎時などに特にコミュニケーションをとるようにしている。
- ・かかりつけ医の指示書のもとに、食物アレルギー専用の月間献立表を作成して保護者に配付し、定期的に栄養士と面談したり送迎時に話し合ったりして保護者と連携している。
- ・調理室から代替食・除去食を受け取る時には職員と調理員がサインをし、配膳の時の受け取りも職員2名により間違いのないように気を付けている。アレルギー児のトレイは別の色にし、トレイに除去食品の詳細も明記している。乳児はテーブルも少し離して、他の子どもの食事を間違えて取らないようにしている。

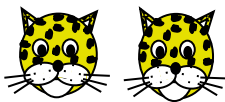
<工夫している事項>

- ・アレルギー児の名前と除去食品を明記したカードをトレイに置き、緊急時にも避難袋に入れていつでもわかるようにしている。

評価分類

評価の理由（コメント）

I-6 苦情解決体制




- ・苦情受付窓口は施設長で、苦情受付担当者は主任となっており、玄関に掲示している。
- ・第三者委員の名前と電話番号が玄関に掲示してあり、直接苦情を申し立てることが出来る。
- ・意見箱を玄関に置き、懇談会や行事後のアンケートを取り、保護者の意見や要望・苦情を聞いている。アンケートの集計結果は保護者に知らせている。
- ・園単独で解決困難な場合は、設置法人の担当部署と相談し、さらに港北区福祉保健センターや北部児童相談所に連携をとる体制がある。
- ・保護者へのアンケート結果や要望・苦情については、職員会議を通して全職員に周知されている。

<コメント・提言>

「クレーム受理票」に今年度はまだ記載がありません。些細なことでも記載して職員に周知し、園の改善課題を拾い上げていくことを期待します。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="188 226 517 255">Ⅱ－1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none">・おもちゃや絵本は子どもが自由に取り出して遊べるように手の届く高さの棚に中身が見えるかごに入れて置かれていて、自由遊びの時間では動きのある遊びと静かにあそぶスペースを机やマットで分け、子どもが落ち着いて遊び込めるように工夫している。・3～5歳児のテーマ遊び「お店屋さんごっこ」では子どもたちが何屋さんをやるか話し合い「デザート屋」「おもちゃ屋」「アクセサリー屋」「八百屋」「ハンバーガー屋」と決め、売り物も廃材を利用して自分たちで作るなど、子どもたちの発想を大切にしている。・屋上の園庭でピーマンやトマト、なす、ほうれん草などを栽培し、毎日の水やりや成長を観察している。収穫したなすは放射能チェック後クッキング保育で「なすグラタン」として利用し保育活動にフィードバックしている。また、秋には近隣の農園に「芋ほり」に出かけたり、消防署に見学に行ったりと地域を知る機会も設けている。・体操・リトミック教室では年齢に合わせたカリキュラムがあり、覚えた歌を子どもが自然に口ずさんでいる。5歳児は和太鼓を取り入れ表現活動をしている。子どもの作品を展示するときは、台紙を付けてレイアウトしたり、保育室にロープを張ってつり下げるなど一人一人の作品が引き立つように展示方法を工夫している。・幼児クラスのケンカはケガのない範囲で見守りながら、職員が仲立ちに入ってお互いの気持ちを受け止め両者が理解し合えるように支援している。乳児クラスはケガをしないように気を付けながら、言葉でうまく表現できないところを職員が補っている。 <p data-bbox="722 1088 938 1117"><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none">・利用者家族アンケートからは園外活動について、不満・どちらかと言えば不満を合わせて41%と高くなっています。公園など地域への散歩の頻度を増やすことが望まれます。

Ⅱ-1 保育内容[生活]



・食事を楽しむために職員は一人一人の食べる量を把握し、食が細い子どもには最初から盛り付けを少なくしたり、好き嫌いがある子どもへは苦手なものは減らしたりして、少しでも食べられたら「頑張ったね」と褒めるなど完食の喜びを感じられるよう配慮している。

・3歳児から月に一回「クッキング保育」を取り入れ、子ども達は調理に参加して、食への関心を高めている。12月のクッキング保育では5歳児がクッキーを焼き、3、4歳児がデコレーションを行った。3歳児からは、給食当番が白衣と三角巾を身につけ配膳の手伝いや挨拶を行い食事やその過程にも関心が持てるようにしている。

・毎月行事に合わせて「七五三ランチ」「クリスマスランチ」など、季節感のある献立や楽しい盛り付けの食事を提供している。お米は提携農家から特別栽培米（減農薬・減化学肥料）を取り寄せて、他の食材も決まった業者から毎日届けられ、園長・栄養士が鮮度チェックを行っている。野菜・果物・卵・牛乳などは産地表示を掲示している。調理マニュアルに従って異物混入防止や温度管理を行い、安全に配慮している。食器については強化磁器を使用し、箸などは常に点検し随時入れ替えを行っている。

・2～5歳児のクラスの職員は一緒に食事をして、子どもの好き嫌いを把握している。一人一人の嗜好にあわせて野菜の量や盛り付けを工夫している。0、1歳児もそれぞれの子どもの食べる量を把握して盛り付けを調整している。調理担当者が給食の残量を記録し、職員も保育日誌に食事の状況を記録している。1ヵ月に一度、園長・調理担当者・クラス担任が参加する給食会議で状況を報告し合って、調理法や味付け、盛り付けなどを検討し、反映させている。0歳児の麺の長さをスプーンで食べやすい長さに変更したり、最初の盛り付けを減らしおかわりを増やすことで子どもたちの満足を高めた例がある。

・離乳食、幼児食、アレルギー食の献立を作成し、前月末に保護者に配布している。玄関に「今日の献立」の実物サンプルの展示も行っている。給食試食会を実施し、だしや味付け、食材の切り方など園で工夫していることを伝えている。

・昼食後はパジャマに着替え、カーテンをひき、明かりを落として眠りやすい環境を作っている。乳幼児突然死症候群（SIDS）を防ぐため、0歳児には5分おきに1歳児は10分おきに呼吸チェックを体に触れて行い、記録している。眠れない子どもや眠くない子どもには、午睡を強制せず休息が大切であることを大事にし、職員が側について見守っている。

・一人一人の排泄リズムを把握し、個人差を尊重して無理に誘うのではなくできるだけ遊びが中断しないように配慮している。トイレトレーニングは、一人一人に合ったペースで進められるように配慮し、保護者にはその日の状況を連絡ノートに記入するだけでなく必ず口頭でも伝えるようにして、連携を密にしている。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



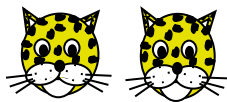
・健康管理マニュアルに基づいて、子ども一人一人の健康状態を把握し、既往歴・予防接種状況などを個別ファイルに保管している。その後進級時に確認するとともに、変更があった時に保護者に申告してもらい随時更新している。

・0歳児後半から歯ブラシにならし、1歳児から毎食後歯磨きを行い、3歳児までは職員が仕上げ磨きを行っている。使用した歯ブラシ・コップは毎日塩素消毒している。

・年2回の健康診断と年1回の歯科検診を行い、子ども一人一人の健康診断・歯科検診の結果は「児童成長記録」に記録しファイルされている。健康診断の結果・歯科健診の結果は、書面と口頭で全保護者に伝えている。

・感染症対応マニュアルがあり、入園のご案内に「感染症に関するお知らせ」を記載し、入園説明会・年度初めの運営委員会で、感染症の登園停止基準や保育中の発生時の対応などについて保護者に説明している。感染症が発生したときは、速やかに各フロアの玄関に掲示して保護者へ伝えている。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



・衛生管理マニュアルが整備されており、施設・設備・玩具などの清掃消毒方法が明記され、職員が入職時に研修を受けている。年に一度職員の意見を集約して園長会議に持ち寄り、法人運営本部が見直している。改定時は職員会議で説明され、全職員に周知している。

<コメント・提言>

・保育室、トイレ、エアコンフィルターなど場所ごとに清掃チェック表を作成しマニュアルに沿って清掃を行っているということですが、空気清浄器・エアコンのフィルターなど項目によって記録がない部分があります。清掃を行った際は確実に記録されることを望みます。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



・事故や災害に適切に対応したマニュアルがあり、全職員に周知されている。地震を想定し、固定金具などでロッカーや家具などは固定し、転倒防止策を講じている。棚の上にラジカセなどを置く場合は、滑り止めシートを使用している。

・年間避難訓練計画書を作成し、毎月地震・火災を想定しての「119番通報訓練」「広域避難訓練」などを実施している。

・緊急連絡体制が確立され、保護者への連絡は、緊急連絡引渡票で行っている。園携帯電話にメールの登録をした保護者に情報を流すシステムもある。

・1階・2階・3階の玄関は電子錠になっていて、来園者の顔を確認してから解錠し、不審者の侵入を防止している。警備会社と契約し、防犯カメラ・通報ベルが設置され緊急通報体制等が確立し、散歩の時も携帯型緊急通報装置を携帯している。

<コメント・提言>

・保護者の緊急連絡先については緊急持ち出しファイルとして保管され、早急に対応できるようになっていますが、地域、救急機関の緊急連絡先等をリスト化し事務所に掲示されていません。地域、救急機関の連絡先をリスト化し、早急に事務所に掲示されることを望みます。

評価分類

評価の理由（コメント）

II-3 人権の尊重



・業務マニュアルに、子どもとの話し方・接し方の規定があり、全職員が読み込んでいる。子どもの人権侵害に関する新聞記事などは本部から提示され、それをもとに職員会議で話し合っている。

・保育室のロッカーの角に友だちや保育士の視線を意識せずに一人で過ごせる場所がある。事務所やフリースペースが子どもと1対1で話し合える場所になっている。

・設置法人が作成した個人情報取り扱いガイドラインがあり、全職員は、入職時、個人情報の取り扱いや守秘義務について研修を受けて周知し、非常勤社員も含め全職員が誓約書を提出している。職員会議においても、個人情報の取り扱いについて確認している。今年度は個人情報の持ち出しなどの違反事例について職員会議で再度周知した。

・保護者には、個人情報の取り扱いについて、入園時説明している。ホームページへの子どもの写真については、入園時に書面で承諾をもらっている。

・職員は、遊び、持ち物などに男女の固定観念を持ち込まないように留意し、性別による区別はしていない。遊びや行事では、職員が子どものやりたいものを聞き、自ら選ぶ気持ちを大切にしている。出席簿の順番、給食のグループ分けや体操の整列などは性別にしている。保護者に話をするときも役割の固定概念がないように意識している。

Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



・園目標は「園だより」に毎月記載し、玄関にも掲示していつでも目に触れるようにしているほか、運営理念・基本方針・園目標を入園時に配付する「入園のご案内」やパンフレット、ホームページにも掲載している。併せて入園説明会や年度初めのクラス懇談会で保護者に説明している。

・登園時に職員が必ず子どもの家庭での様子を聞いている。降園時の保護者へその日の様子を口頭で伝えるとともに、乳児クラスでは個人連絡ノート、幼児クラスの様子はクラスノートで情報交換している。

・保護者から相談の際は、人目を気にせず相談出来る場所として、事務室やフリースペースを利用し、他の人が入室できないように「面談中」のプレートをかけている。

・「園だより」「保健だより」「給食だより」「英語だより」「リトミックだより」を毎月発行し、子どもの活動の様子を伝えている。

・年度初めに年間行事予定表を配布・説明し、保護者が参加できやすいように配慮している。行事は保護者が参加しやすいように土曜・日曜・祭日を設定している。

<工夫している事項>

各クラスが折に触れて写真を撮り、保育室内、廊下壁などに掲示して、日常の保育の様子を知ってもらうように努めている。更に日常保育の写真は保育室内にファイルされ保護者はいつでも見ることができる。また、日常保育の写真も委託事業者のホームページから購入することができる。

<コメント・提言>

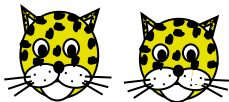
保護者組織はありませんが、夏祭りや運動会など行事にお手伝いを募って保護者同士のコミュニケーションを深めている様子が伺えるようなので、これを見守りながら自主的な活動組織に発展させ、自主的な保護者会が再結成されるよう支援することが望まれます。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類

評価の理由（コメント）

Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



・地域の子育て支援ニーズを把握するため、地域のコンビニなどに夏祭り、運動会などのポスターを貼らせてもらい、地域の子どもの参加を呼び掛け、交流に努めている。

・地域での子育てを支援するためのサービスや地域住民に対する育児相談を行っていないが、園見学に来訪された方の相談には応じている。

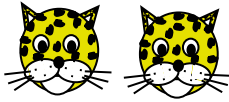
・地域の子育て支援ニーズについては、園長会議の情報をもとに年度当初に職員会議で話し合い、園庭のプールを地域の方に開放したいなど意見が出ている。

<コメント・提言>

・自治会を担当している区役所担当部署に近隣の自治会情報を確認したり、夏祭りなどに参加した地域の方から施設への要望を聞くなど、地域の子育てニーズを把握する取り組みが期待されます。

・地域住民に向けて子育てや保育に関する講習・研修会は予定されていませんが、専門性を生かした講習会などの企画が期待されます。

Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能



・定期的育児相談は設けていないが、園見学に来訪された方の相談には応じている。港北区福祉保健センターに園のパンフレットを置き地域住民へ情報提供している。

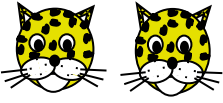

・港北区役所の子育て支援課、医療機関、北部地域療育センター、北部児童相談所、子育て支援拠点と連携できる体制があり、関係機関との連携の担当者は園長・施設長となっている。研究会などに参加した際、内容について職員会議で報告している。

<コメント・提言>

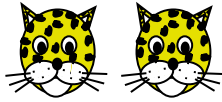
・地域住民に対する育児相談を設定されていないので、職員会議で話し合っって育児相談を設定されることを望みます。また、園の行事などのチラシを、地域子育て支援拠点などに置くなど、地域につながる情報提供が期待されます。

・新しく作成中ということで、北部児童相談所や北部地域療育センターなど必要な関係機関・地域の団体等をリスト化して事務所内に掲示されていません。早急に関係機関・地域の団体等をリスト化して事務所内に掲示して情報を職員が共有されることを望みます。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<p>・散歩の時に近隣の住民や他園の子どもに挨拶をしたり、近くの消防署に見学に行ったりしている。</p> <p>・綱島公園にあるアスレチックや絵本コーナーで遊ぶことがある。</p> <p>・地域の畑を借りて芋ほりをしたり、七夕の笹をもらったりしている。またお泊り保育の時に、近隣のスーパーマーケットで買い物をしている。</p> <p><コメント・提言></p> <p>・地域に積極的に入って情報を得、子どもが地域の中に入って行けるような働きかけを期待します。</p>
<p>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<p>・見学者には園の情報を記載したパンフレットを渡し、ホームページにも園の情報と園内の写真を提供している。</p> <p>・NPO法人びーのびーの発行の「幼稚園＋保育園ガイド」に園の情報を提供している。</p> <p>・利用希望者には、パンフレットなどに基づいて、園の基本方針、利用条件、サービス内容を説明している。</p> <p>・基本的には月曜日と金曜日の午後に見学時間を設定しているが、見学希望者の都合に合わせることもある。見学者には、アンケートを実施している。</p>

IV-3 実習・ボランティアの受け入れ



・ボランティア・実習生の受け入れのマニュアルがあり、受け入れの際には方針や配慮を説明することになっている。

・今年度はボランティア・実習生の受け入れはない。

<コメント・提言>

・ボランティアを受け入れることで、地域とのつながりが増え、子どもたちの視野にも広がりが生まれます。地域との接点を積極的に探して、ボランティアの受け入れにつながることを期待します。

・施設運営が閉鎖的になることを防ぐためにも、実習生の受け入れを期待します。

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
V-1 職員の人材育成	<p>・横浜市の規定に基づき、子ども的人数に対して十分な資格者の人数をチェックし、不足した場合は本部と相談の上必要な人材を補充している。</p> <p>・常勤職員については年3回の査定シートで自己評価し、研修計画での目標を定め、園長などとの面談により達成度の評価をしている。</p> <p>・設置法人の新人研修、階層別研修のほか、横浜市など園外の研修も積極的に知らせて、職員が参加している。</p> <p>・園内では、常勤職員は職員会議の場で研修をし、非常勤職員は議事録を見て確認できるようになっている。今年度は虐待やSIDSについての研修をした。</p> <p>・非常勤職員用業務マニュアルが配付されている。</p> <p>・常勤・非常勤職員の組み合わせなどを配慮して、施設長と主任がシフトを作っている。</p>

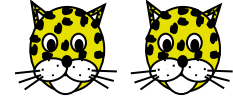


評価分類	評価の理由（コメント）
V-2 職員の技術の向上	<p>・保育日誌への記入や指導計画作成にあたって職員は振り返りを行う仕組みがある。毎年の第三者評価でも自己評価をし、園の課題を話し合っている。</p> <p>・SIDSについての勉強会を開き、うつぶせ寝のリスクに対する意識向上につながった。</p> <p>・各指導計画、保育日誌には評価・反省欄があり、職員が振り返りをした結果の記入欄が定型化されている。振り返りは、子どもの活動内容に基づき、子どもの育ち、意欲、過程にも言及し、ねらいと関連付けて行われているかを最後に園長がチェックをしている。</p> <p>・職員が振り返りをして評価したものを、その後の計画作成に反映させている。</p> <p>・職員の自己評価の結果、園としての課題を明らかにして取り組んでいる。</p>

V-3 職員のモチベーションの維持



- ・経験に応じた役割の期待水準が、人材育成ビジョンとして明文化されている。
- ・クラスの中では、担任が子どもの状況に応じて自主的に判断できるよう権限を委譲して、あとで報告をしている。例えば発表会などは担任に任せている。
- ・職員会議やリーダーミーティングなどで職員が提案を出している。例えば掃除の担当者や時間の変更が提案された。
- ・必要に応じて園長やエリアマネージャーが職員と個別面談を行い、要望などを聞いている。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
VI-1 経営における社会的責任 	<ul style="list-style-type: none">・経営、財務状況などの情報が、設置法人のホームページに掲載され、いつでも見られるようになっている。・他施設での不適切な事案が設置法人の園長会で報告され、園長はそれを園に持ち帰って、職員会議やリーダー会議で気を付けるよう啓発している。・持参したペットボトルは持ち帰ってゴミを出さないようにし、牛乳パックやプラスチックトレイなどは制作の材料として使っている。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none">・リサイクル・省エネルギーの取組はしていますが、明文化されていません。環境への考え方を保育課程・運営計画などに明記することで、子ども・保護者・職員への意識付けに効果があると思われます。
VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等 	<ul style="list-style-type: none">・理念・基本方針を玄関に掲示し、職員会議やリーダーミーティングを通して職員は周知している。・園長は保護者会やアンケートで保護者の意見を聞き、保護者とのコミュニケーションをはかっている。・行事やクッキング保育では、保育士や栄養士など異なる部門の職員により取り組んでいる。・主任は、「保育の様子を観察し、個々の職員の能力や経験に合わせて、立ち位置など必要な助言や指導をしている。・地方から出てきた職員がホームシックにならないように声をかけたり、就業時間にも気を配るなど、個々の職員の状態に配慮している。
VI-3 効率的な運営 	<ul style="list-style-type: none">・事業運営に影響のある情報は設置法人で収集・分析し、園では地域の園長会や近隣園との研究会を通して地域の情報を収集している。・園長が持ち帰った重要な情報は職員会議で議論し、重点改善課題を設定し、園全体で取り組むようにしている。・設置法人の中長期計画と共に、園の課題を踏まえた中期計画を作成している。・設置法人の園長会議で運営やサービスの仕組みについて検討している。

利用者家族アンケート

結果の特徴

【アンケートの送付数、回収率】

アンケート送付数:97世帯
回収数:56通 回収率:57.7%

【回答の特徴】

1. 運営理念や基本方針の認知について
「よく知っている」「まあ知っている」を合わせて84%あり、共感できるのは92%にのぼった。ただ、運営理念や基本方針を「よく知っている」との回答が「まあ知っている」に比較して少ない。
2. 入園したときの状況について
前経営主体の時に入園した利用者が多いため、アスクに変わったときに見学などは行っていないので、見学や説明が無かったなど「その他」の回答が13～23%あり、特異な傾向になっている。
3. 保育園に関する年間の計画について
「年間の計画に保護者の意見や要望が活かされているか」について、30%が不満と回答している。
4. 日常の保育について
特に戸外遊びや自然に触れあうことのできる遊びが少ないとの回答が32～41%ある。
5. 生活について
この項目のすべてに対し、「満足」「まあ満足」が80%以上の利用者が回答している。ただし、おむつはずしの項目についてはまだその段階に達していない子どもがおり、その他と回答している。
6. 保育園の快適さや安全対策
子供が落ちていて過ごせる場所や園庭など施設に対する不満が27から31%あり、今後屋上の園庭を整備し遊び場所の確保に課題があります。
7. 園と保護者の連携・交流について
送り迎え時の保護者とのコミュニケーションに不満があります。
8. 職員の対応について
「満足」「まあ満足」84から91%とが多いが、アレルギー対応については該当しないとの回答が34%ある。
また、不満や要望への対応について、「分からない」との回答が14%ある。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	20%	64%	5%	11%	0%	0%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への共感	共感できる	まあ共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	共感できない	無回答
	52%	40%	2%	6%	0%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	29%	41%	5%	2%	23%	0%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	14%	47%	14%	2%	23%	0%
	その他:					
園の目標や方針の説明には	23%	51%	4%	4%	18%	0%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	32%	48%	4%	2%	14%	0%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	29%	44%	11%	2%	14%	0%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	32%	46%	5%	4%	13%	0%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	25%	48%	14%	9%	4%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	14%	51%	21%	9%	5%	0%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や園の遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	36%	39%	18%	2%	5%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	30%	25%	27%	14%	4%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	30%	43%	13%	9%	5%	0%
	その他:					

自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	18%	43%	18%	14%	7%	0%
	その他:					
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	34%	55%	4%	2%	5%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	29%	44%	11%	9%	7%	0%
	その他:					

生活について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食のメニューの充実については	63%	35%	0%	0%	2%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	57%	39%	2%	2%	0%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み	38%	49%	4%	2%	7%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	39%	48%	9%	2%	2%	0%
	その他:					
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	36%	33%	9%	2%	20%	0%
	その他:					
お子さんの体調への気配りについては	39%	48%	13%	0%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	29%	55%	7%	2%	7%	0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
園舎、園庭などの施設については	16%	51%	20%	11%	2%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	25%	48%	23%	4%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入に対する備えについては	45%	42%	4%	7%	2%	0%
	その他:					
衛生管理や感染症対策については	30%	59%	9%	2%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	23%	57%	13%	5%	2%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	32%	59%	5%	4%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	21%	62%	9%	4%	4%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	18%	46%	20%	11%	5%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	20%	57%	11%	5%	7%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	25%	56%	13%	2%	4%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	54%	44%	0%	2%	0%	0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	41%	50%	5%	4%	0%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでしているかについては	46%	45%	4%	5%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	25%	36%	5%	0%	34%	0%
	その他:					
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	32%	52%	14%	2%	0%	0%
	その他:					
不満や要望への対応については	23%	47%	9%	7%	14%	0%
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答
総合満足度は	25%	53%	13%	9%	0%

利用者本人調査（アスクゆめみらい保育園）

◇0 歳児

（室内遊び）

午前のおやつの後、保育室の隅のマットで順番にオムツを替えてもらい遊びに入る。棚の上のマグネットをつまんで剥がしたり張ったりしながら遊ぶ子ども、ボールを投げてよちよち歩きながら追いかけている子ども、職員の膝に座って絵本を読んでもらっている子ども、それぞれ好きなことをして遊んでいる。職員は「上手にできたね」など声掛けながら見守っている。

（午睡）

パジャマに着替えて、部屋の明かりを落とし、布団で職員にトントンされたり、体をさすってもらったりして眠りについている。眠れない子どもは職員の胸に抱かれてトントンされている。職員は5分ごとに眠っている子どもの胸に手を当てて呼吸のチェックをしている。

（お迎え）

夕方、子どもたちが、ボールや車で自由に遊んでいると、保護者がお迎えに来る。お母さんがお迎えに来た子どもは笑顔でお母さんに抱っこされ、職員は連絡帳を開きながら「消防署まで散歩に行ったんですよ」と今日の様子を伝えている。

◇1 歳児

（散歩）

CDを流して職員のまねをしながら踊っている。散歩の準備のため別の職員が子どもたちに帽子を被せていく。1曲終わったら散歩に行く子どもたちはすべて帽子をかぶっていた。順番に上着を着て、靴下、靴を履いて玄関で座っている。職員は散歩に行く子どもたちの名前を呼び、子どもたちは「はい」と答えている。12人は6人乗りのベビーカー2台に分散して乗りエレベーターで1階に、歩行がしっかりした子ども4人は階段の手すりを持って繋がりながら歩いて1階に降りていく。職員は「ゆっくり、頑張って」と声掛けながら一緒に階段を降りている。玄関を出たところで再度、人数・名前を確認し6丁目第二公園に出発した。4名は2名ずつ職員と手を繋いで歩き、12名はベビーカーに乗っている。途中で「ニャアニャいた」「サンタさんがいる」と話しながら10分程で公園に到着した。職員が子どもたちに「今日はお砂場だけで遊ぶよ」と話し、子どもたちは砂場で遊び始めた。思い思いにバケツに砂を入れたり、車の型などに砂を入れて形を作ったり壊したりしている。風で落ち葉が舞う様子を見て「葉っぱが踊って

る」と嬉しそう。「もうすぐ給食だから帰ろうね」と職員が声をかけ、行きと同じようにベビーカー組と歩き組に分かれ、人数・名前を確認して出発した。「今日の給食なんだろうね」と話しながら園に戻った。

◇2歳児

(昼食)

6人ずつ1つのテーブルを囲んで職員の配膳を待ち、当番の言葉に合わせて「給食の歌」の後「いただきます」の挨拶をして食べ始める。全部食べ終わったらお替わりの約束なので、「スープも飲んだよ。ピカピカ！」とうれしそうに見せていた。「おかわりください」と声をかけていた。みんながおかわりできるように少しずつ盛り「僕、4回目」と得意げになっている子どももいる。食事が終わった子どもから食器をワゴンに持っていき同じ種類ごとにお皿を重ねる。手洗い場に並べられた椅子で歯磨きをして、職員に仕上げ磨きをしてもっている。

(午睡)

マットのところで、自分のパジャマを出して着替え始める。職員の手助けを受けながらそれぞれの子どもたちが自分のペースで着替えていた。着替え終わった子どもは順番にトイレに行っている。「〇〇ちゃんまだトイレに来ていないよ」と職員同士で連携を取りながら対応し、準備ができた子どもたちはマットの所で絵本を読んでいる。ほとんどの子どもが準備出来たら、職員が「今日は『てぶくろ』の話です」と紙芝居を始めるとみんな集中して話を聞いている。紙芝居が終わったころにはお昼寝用の布団が敷かれていて、子どもたちは自分の布団に横になり眠りの準備に入る。

◇3・4・5歳児

(お店屋さんごっこの準備)

3、4、5歳児合同でお店屋さんごっこをするために、グループごとに準備をする。デザート屋さんはカップに入ったいろいろな種類のアイス、アクセサリ屋さんは指輪、ネックレス、八百屋さんは野菜はもう作ってあるので頭のかぶりもの、ハンバーガー屋さんはパンとハンバーグ、おもちゃ屋さんはいくつかのおもちゃを作る作業に没頭している。紙コップやプラスチックのトレーなどの廃材や絵の具などがところ狭しと置いてある。子どもたちは「いらっしやいませ」「透明のお金でいいですよ」「ありがとうございました」と、練習にはげんでいる。

(園庭での外遊び)

屋上が園庭となっており、まず3階玄関で点呼をし、階段を上がって屋上に上がるとまた点呼をする。広々とした屋上は、周りにあまり高い建物がないため360度の眺望が望める。こおり鬼などの鬼ごっこで走り回る子どもたち、長縄を順番に跳ぶ子どもたち、

一人ずつ縄跳びをする子どもたちが、かなり強い風もものともせず元気に体を動かしている。隅に置いてある乳児用の滑り台と家の遊具は幼児は使わないことになっているが、家の屋根に上った子どもがいて、職員に「危ないことはしない！」と叱られていた。

帰る前には点呼をし、階段を下りて3階に戻ってくるときにはまた点呼をしていた。

(夕方の合同保育)

ブロックで長い電車や車を作って遊んでいる子ども、お絵かきやぬり絵をしている子ども、かばんや携帯電話を使ってままごとをしている子どもなど、それぞれ好きなことをして遊んでいる。

◇3 歳児

(昼食)

「今日はヨーグルト、やったー!」という声が聞こえると、まだ見ないうちから次々「やったー」と言い始める。

当番はエプロン、バンダナを身に付けるが、なかなか一人では難しい子どももいるが、四苦八苦しなげに何とか身に付ける。まずトレーを配る。トレーにはそれぞれひらがなの名前が貼ってあり、机に貼ってある名前と間違えることなく配っていく。名前の横には「箸」と貼ってあるトレーもある。お茶、スパゲッティやオムレツの入ったお皿、ヨーグルトを当番が配る。

職員は「〇〇ちゃん、野菜1口食べようね」とそれぞれの子どもに目を配りながら声をかけている。話に夢中になって食事が止まっているので「時計の長い針が6になったら『もぐもぐタイム』だから話をしないで一生懸命食べようね」と声をかけ、食べることに集中させている。その後時間を決め、当番が「ごちそうさまでした」と挨拶をして食器を片づける。自分の席で歯磨きをして、仕上げ磨きが終わった子どもから手洗い場でうがいをしている。

◇4 歳児

(昼食)

体操教室の後、保育室で粘土制作をし、後片付けをして昼食の準備をする。

当番が、ご飯やおかず、スープもこぼさないように気を付けて配膳をする。たくさん食べる子どもには、ご飯が山盛りに盛り付けてある。

アレルギーによる除去食の子どもの方は最初からトレーに配膳してあり、他と色が違うトレーに名前と除去する食品名が記入してあって、同じく名前と品名が書かれたカードも置いてある。

職員が、今日の献立や食材の話をする。「今日はキノコがたくさん入っていますよ。」などと話して、「いただきます」をする。それぞれのテーブルで、おしゃべりに花が

咲いている。

◇5 歳児

(昼食)

食事前にはテーブルがセットしてある。子どもたちは、お絵かきがしたいと、それぞれのロッカーから自由画帳を取り出し、テーブルで思い思いにお絵かきやぬり絵を始める。

当番はエプロンをつけ、テーブル拭きをする子ども、お鍋からスープをよそう子ども、お茶を入れる子ども、配る子どもがそれぞれ手際よく流れるように準備をする。

他の子どもたちも手を洗い席につくと、待っている間に、練習していたらしいクリスマスの歌を歌うグループもある。

食事も揃ったら、「みなさん、よろしいですか?」と当番が声をかけ、「いただきます」の歌を歌って食べ始める。それぞれのテーブルでおしゃべりをしながら食べている。おしゃべりし過ぎて手が止まっている子どもには、職員が時々声を掛けている。食べ終わると、自分でお替わりを取りにいっている。

【受審の動機】

定期的に第三者評価を受審することで、さらに不足とされる点を明確にするとともに、今後の課題を見出すために有効な手段だと感じた為、受審させていただきました。

運営主体の理念として、「利用者に本当に求められるサービスを提供すること」を掲げており、利用者調査を元に保護者のニーズを把握しながら、日々の運営に反映させるべく評価受審に臨みました。評価の際は、今日行なっている保育に加え、これからの課題など客観的に指導していただきました。

今後も常に利用者のニーズに耳を傾け、子どもたちや保護者に親しまれる園でありたいと考えております。

【受審した結果】

昨年に引き続き、全体的に評価された結果となったものの、地域との関わり合いとサービスの実施内容については課題が残っています。また、前年と同様、全職員が同時に「保育」を見直すことで、運営方針や理念、今後園の目指していく方向性を再確認することができました。このことが、職員の意識の高まり、保育の質の向上につながっていくと感じています。

昨年度からの課題である地域交流について、今年度は近隣の小学校へ年長児と1年生との交流する機会を作りました。来年度も小学校など、交流の場を増やすことに努めます。また、サービスの実施内容についても、保育の質の向上を図るとともに、子ども・保護者が安心できる職員体制を築くため、職員が働きやすく楽しんで仕事に取り組める職場を目指してまいります。

そして、利用者家族アンケートの結果からニーズや問題点を把握し、「利用者が本当に求める保育サービス」を提供していけるよう、職員一丸となって努力してまいります。

最後に、今回の第三者評価受審に際し、ご尽力いただいた評価機関の皆様、ご多忙にもかかわらず利用者調査にご協力いただいた在園児の保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。